

令和6年

3月号

No.653



日蓮宗

法音寺



今月の
ご法話

修養と貯蓄

悦可衆心

よい教えを伝えよう
おし った

今日一日、

人に感謝しましょう

今日一日、

人に親切にしましょう

今日一日、

人を善に導きましょう

月刊・法音 令和6年3月号 No.653 目次

【信仰の指針】植福しよくく 天の倉に徳を蓄えましょう 1

修養と貯蓄 山首 鈴木正修 2

◆春のお彼岸です 19

◆有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください 20

◆青少年育成道場のお知らせ 22

◆仏教漫画『日蓮さま』・㊦龍ノ口 23

◆龍口法難 31

◆お寺の本棚 32

◆常寂光土への誘い(20) 34

◆のりのね体験 36

◆支院だより 38

◆福祉のひろば 63

○幸せのお手伝い 64

○昭徳会・保育分野施設見学研修会 66

○日本福祉大学・みはまスポーツフェスティバル2024を開催しました！ 68

◆賛助員ご芳名 70

◆幸せの種まき／編集後記 72

◆連載まんが・ひまわり・134 もう少しの勇氣 73

◆法音寺の社会福祉・教育事業 73

掲載写真 表紙・信仰の指針 3頁・19頁・梅田雅臣氏撮影

2頁・加納将人氏撮影

表紙写真・梅

信仰の指針

し
よ
く
ふ
く

植福

天の倉に

徳を蓄えましよう

日教五





朝のこない夜はない

山首 鈴木正修

修養しゅうようと貯蓄ちよちく

今年ことしは年明けとしあ早々そうそうに能登半島のとはんとうで大地震だいじしんが起おこりました。
数多あまたの家屋かおくが倒壊どうかいし、火災かさいが発生はっせいし、多くおほの方々かたがたが亡なく
なり、今尚いまなお、不自由ふじゆうな生活せいかつを強しいられている人々ひとびとがたく
さんおられます。ここで、謹つしんでご冥福めいふくをお祈いのりし、併あわ
せて一日いちにちも早い復興ふっこうを心こころより願ねがうものであります。今回こんかい、
世よの中なかというものは何なにが起おきるかわからないということ
を改あらためて痛感つうかんいたしました。

災害さいがい以外にも、病気びょうき、災難さいなんというものが不意ふいに襲おそって
くることがあります。そういう時ときに、さあ一大事だいじだと
誰だれしも慌あわてふためくものです。そうならないために、先せん
師しは、普段ふだんからお題目だいもくと三徳さんとくの修養しゅうようを怠おこらないことが肝かん



要である」と言っておられます。

私の若い頃の話です。広島市の福山支院に行った時、ある女性から「お神通をかけてほしい」と頼まれ、神通がけをさせていただきました。その方は大層痩せておられて、つらそうでした。事情をお聞きすると、「肝臓ガンの末期で腹水も溜っている」ということでした。「今度入院したら支院にはもう来ることができないと思います」
とも言われました。その後、入院された病院からお礼の手紙が届きました。そこには「人生の最期を迎えるにあたって、お題目と三徳の教えがあるので、何も恐れるものはありません。安らかな気持ちでおります。ありがとうございます。うございます。また、周りの患者さん達にも『お題目を唱えると心が楽になりますよ』とお題目を勧めています」



と書かかれていました。私はとても感銘を受けたことを今も昨日のことにように思い出します。この方のような心こそが修養の賜物であろうと思います。

日々の修養とともに大事なことが備えであり、蓄えであらうと思います。

経営の神さまと言われた、松下幸之助さんが、講演でたびたび「ダム式経営」という話をしておられます。まず松下さんは上杉鷹山の話を読みました。

鷹山は米沢藩(現在の山形県東南部)の藩主で、名君として名高く、キリスト教の思想家・内村鑑三の『代表的日本人』のうちの一人に挙げられた人物です。鷹山は養子として米沢藩に入り、17歳で藩主になりました。当時



よねざわはん 米沢藩は数百万両という莫大な借金がありました。また、よんざん鷹山がかどく家督を継ぐ前には大飢饉があり、りうみん領民が大勢亡くなりました。そうしたことを鑑みて、ようざん鷹山は大儉約令を出し、みずか自らも質素な生活をしました。そして、たくわ蓄えられたお金によってしよくさんこうぎやう殖産興業が盛んになり、はん藩は繁栄していききました。また、あさまやま浅間山の大噴火の時にはききん飢饉で隣国では大勢の人が亡くなりましたが、よねざわはん米沢藩ではお米のびちく備蓄によって一人の死者も出さなかったということです。

まつした松下さんは、「この上杉鷹山を手本にしなければいけない。それがダム式経営だ」と言われています。

ダムダムは河川の水を流しきりにせずに、水の多い時はこれを蓄え、かんき乾期に放流して水量の調節を計り、さらにそれを発電や灌漑に利用します。そのようなやり方、考え



方は国家の運営、企業の経営、人生全般に応用できるものだと松下さんは言われます。企業家は時々、社会情勢、即ち好景気、不景気に左右されない安定的な経営を心掛けないければいけません。それがダム式経営なのです。

現代の経営の神さまと呼ばれた稲盛和夫さんが若い頃、ある講演会で松下さんの「ダム式経営」の話聞いていました。講演後、聴衆の一人が手を挙げて質問をしました。「松下さん、ダム式経営が良いのはわかりましたけど、どうやったらそれができますか?」。すると松下さんは「わかりません」と言いました。その発言に聴衆はざわつきました。その後、松下さんは「まずは、そういう経営をするんだ」と強く思わないといけません」と言いました。それを聞いていた稲盛さんは、そうだ、



そういう経営ができたらいいではなく、そういう経営をしなければという思いをしっかりと持たないといけないと思われ、その後の人生に活かされたそうです。

私はよく新渡戸稲造博士の『修養』をお話しさせていただけますが、新渡戸博士は『修養』の中の「貯蓄」という章で次のように言っておられます。

「人には三段の種類がある。第一は、余力があればただちにすべてこれを乱用する者で、これすなわち最も劣等なる徒である。第二は、乱用することを恐れて、なるべく余力あるように不足なきを喜ぶ者、これは中等の人。第三は、余力あればなおさら節度を守り、今日必要でないものは、他人あるいは後日のためにこれを貯蓄する者、



これは最上である。人はここに達せなければ、いまだ動物に縁の近い人間たるを免れぬ」

新渡戸博士が札幌農学校（現在の北海道大学）で官費生として学んでいた頃に、江戸っ子のように、宵越しの金は持たぬぐという学友がたくさんいたそうです。そんな中、一人だけ真逆の人がいました。みんなとは付き合わずに、コツコツとお金を貯めていました。みんなからは「吝嗇」と言われていました。新渡戸博士は、みんなから「ちよつとあいつに少しは付き合うように言ってくれ」と頼まれて、彼に注意をしたことがあったそうです。すると彼は「僕は将来のことを考えて無駄遣いはしないんだ」ときっぱり断ったと言います。

それから時を経て、新渡戸博士が彼に会いました。み



んなから「吝嗇」と言われた彼は当時のお金で数万円
(今のお金で数億円)の貯金を持っていました。土地を
買って家を建て、子どもがらゝ6人あり、親を養い、奥
さんは生活の心配が何もなかったということです。宵
越しの金は持たない、的な学友達は、困窮して彼のとこ
ろにお金を借りに行っていたそうです。まるでイソップ
物語の「アリとキリギリス」です。新渡戸博士に会うな
り、彼は「新渡戸君も困っていたらいつでも貸してあげ
るよ」と言い、付け加えて「在学中には君に忠告された
ことがあったね」と笑ったそうです。新渡戸博士は、
「その時は本当に汗顔に堪えぬ次第であった」と言って
おられます。

新渡戸博士は真に偉大な人物としてジョンズ・ホプキ



ンズというアメリカ人を挙げています。この人はジョンズ・ホプキンス大学という超一流の大学とジョンズ・ホプキンス・ホスピタルという超一流の病院の創始者です。財産のすべてを大学と病院のために費やし、最高の大学と最高の病院を創るという目的のために結婚もしませんでした。当時できたばかりの電車にも乗らず、徹底して節約を通しました。親しい銀行家が親切から「あなたももう年をとられたし、遠くに行く時くらいは馬車ではなくて、電車に乗られたらどうですか」と言うと、ジョンズ・ホプキンスは「私には二つの目的がある。世の人々のために最高の大学と最高の病院を創らないといけないのだ。まだまだ志半ばだ。そんな贅沢はできない」と言ったということです。



昔、東京帝国大学(現・東京大学)の教授でありながら億万長者となった本多静六という人がいます。本多博士は東京帝国大学の林学の教授でありながら、当時の淀橋区の長者番付で一位になった人です。また、林学の第一人者として日比谷公園や明治神宮の鎮守の杜をはじめ数多の公園を設計され、「日本の公園の父」と呼ばれました。本多博士が貯蓄を始めたのは、ドイツ留学時に師事した財政経済学の大家、ブレンターノ博士の言葉によるのです。ブレンターノ博士は本多博士の帰国に際し、次のように言いました。

「君もよく勉強するが、今後、今までのような貧乏生活を続けていては仕方がない。いかに学者でも、まず優に独立生活ができるだけの財産をこしらえなければ駄目で



ある。そうしなければ常に金のために自由を制せられ、心にもない屈従を強いられることになる。学者の権威も何もあったものではない。帰国したらその辺のことからぜひしっかり努力してかかることだ」

このブレンターノ博士は四十余歳でかなりの資産家であつたそうです。そして、本多博士が帰国してすぐに始めたのが「四分の一天引き貯蓄法」です。これは給料が入った時に四分の一をすぐに貯金して、初めから四分の一はなかったものとして、四分の三で生活し、原稿料等の臨時収入はすべて貯金していくのです。ここで本多博士のおもしろいエピソードを紹介します。

本多博士が39歳の時、東京帝国大学が中心となつて学会館を設立しようという話が起こりました。本多博士



のところにも、応分の寄付をして欲しいという申し入れ
がありましたので、本多博士は自分が持っている財産を
考慮して、千円（現在の一千万円）という、応分と思わ
れる寄付をすることにしました。ところが、これが問題
になったのです。千円の寄付をした教授は博士のほかに、
ビタミンB1の発見で名高い鈴木梅太郎博士しかいませ
んでした。鈴木博士の場合は、製薬会社の顧問をしてい
ることは有名でしたので、鈴木博士が千円の寄付をして
も誰も驚きませんでした。しかし、本多博士はそうでは
ありません。一介の大学教授が、どうしてそれだけの
大金を、しかも一度に払えるのかと怪しまれることにな
ったのです。結局、「本多は何かよからぬことをして
いるに違いない」という話になり、農学部内で本多博士



に対して辞職勧告決議がなされてしまったのです。そして、本多博士のもとに二人の代表者がその通告にやってきました。それに対して本多博士は任官以来の家計簿と預金通帳、株券をすべて見せて、自分の収入が学校からの給料と原稿料以外にないこと、そして今の財産は四分の一貯金によって積み立てられたものが元になっていることを証明しました。これには、二人はただ驚くばかりだったそうです。

後日、二人のうちの一人、横井という教授が貯蓄法を熱心に聞きに来たそうです。

本多博士は貯蓄だけの人物ではありません。昭和2年、東京帝国大学定年退官に当って、西郷南洲の遺訓の如く「児孫のために美田を買わず」と新たな決意をし、必要



最小限の財産だけを残り、他は全部、学校・育英・公益の關係諸団体へ寄付したのです。この時、大学での寄付の苦い体験から、世間の誤解を避けるために、すべて匿名、又は他人名義で寄付をしました。この後、本多博士は御礼奉公として社会奉仕に専念しました。

本多博士は「職業の道楽化」ということを提唱されています。

「私の体験によれば、人生の最大幸福は家庭生活の円満と職業の道楽化にある。そうして、私はこの二つを十二分に体得してきたものと感謝している。すべての人が、おのおのの職業、その仕事、その職責に全身全力を打ち込んでかかり、日々の勤めが愉快でたまらぬ、おもしろくてしょうがない」というところまでくればよろしいの



である。いわゆる三昧境である。それが立派な職業の道楽化である。そうして、この職業の道楽化は、それ自体の愉快、それ自身のおもしろさで充分報いられるばかりでなく、多くの場合、その道楽化のカスとして、金も、名誉も、生活も、知らず識らずのうちに恵まれてくるに至るものである。職業を道楽化する方法はただ一つ、**「努力また努力」のほかはない**」

お金等を「カス」と言われるのは大変おもしろいです。しかし、カスが知らぬ内にたまるが如く、お金が貯まるまでにはよほど仕事に専心しなければいけないと思います。

今回、貯蓄のお話をしましたが、お金の貯蓄もジョンズ・ホプキンスや本多静六博士のように徳の貯蓄につなが



がっていかなければ意味がないと思います。

最後に新渡戸稲造博士の『修養』の「貯蓄」の章から徳についての言葉を紹介して締めたいと思います。

「徳には名誉も黄金も及ばぬ快樂がある。人の知り得られぬ楽しみがある。暗夜も畏るることなく、朝起きて日光の輝けるを迎うれば、実に日光を心に反射し、雨が降っても風が吹いても、胸中は常に嬉々として、晴れた天のごとくである。いたるところに樂地ある心地して、人々の味わうことのできぬ快樂がある。巨万の富を積むも、到底買うことのできぬ満足を得ることができるのである」

徳の貯蓄はいかなる人も、意志さえあれば必ずできるものです。皆さん、お互いに徳を積みましょう。



春のお彼岸です。

ご先祖さまに感謝の誠を捧げましょう。

法音寺本山は

3月20日(水・祝)午前11時より

春季彼岸会が行われます。

皆さまのご参詣をお待ちしています。

◆今月の山首上人さまご親修日程

坂支院	3月3日(日)	四日市支院	3月13日(水)
大阪支院	3月23日(土)	岐阜支院	3月24日(日)

有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください

支院・布教所名	今月の講話日など	住所	電話番号
大乘山泰明寺	5日	名古屋市中村区名駅2-37-3	☎(052)581-2069
開基堂	10日	江南市寄木町天道18	☎(0587)53-5436
東京支院	3日・10日・23日	東京都練馬区谷原2-6-37	☎(03)3904-1251
静岡支院	2日・12日・22日	磐田市城之崎4-7-3	☎(0538)32-6625
豊川支院	4日・20日	豊川市中野川町1-26-3	☎(0533)86-4704
安城支院	10日・18日・28日	安城市新田町小山31-25	☎(0566)76-2504
明川支院	11日・23日	豊田市明川町堂ノ脇1-2	☎(0567)32-1825
佐屋支院	4日・10日・24日	愛西市大井町浦田面296	☎(0586)72-7208
一宮支院	5日・15日・25日	一宮市大江1-7-4	☎(0568)22-5813
西春支院	2日・12日・22日	北名古屋九之坪東ノ川20	☎(058)245-2939
岐阜支院	4日・14日・24日	岐阜市切通7-15-22	☎(058)388-2740
笠松布教所	12日	岐阜県羽島郡笠松町八幡町23	☎(0584)78-4854
大垣支院	1日・10日・21日	大垣市宝和町5	☎(0575)22-0776
関支院	3日・13日・23日	関市西福野町2-15-11	☎(0575)23-3771
平賀支院	3日・16日・24日	関市市平賀2-13-2	☎(0575)65-3933
郡上八幡支院	8日・24日	郡上市八幡町小野72-1-3	☎(059)352-3633
四日市支院	3日・13日・22日	四日市市赤堀2-4-7	☎(0595)21-0127
上野支院	1日・10日・21日	伊賀市上野向島町3475	☎(0595)21-0127

☎ご連絡は本山寺務局へ

京都支院	1日・9日・20日	京都市上京区北横町360	☎(075)231-3437
高槻支院	3日・21日	高槻市天神町1-9-2	☎(072)685-1003
大阪支院	10日・23日	大阪市此花区西九条3-4-41	☎(06)6465-5051
和泉支院	3日・22日	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺404	☎(072)466-3112
神戸支院	9日・21日	神戸市兵庫区五宮19-17	☎(078)360-4884
淡路支院	5日・25日	南あわじ市神代国衙9-10	☎(0799)42-0175
岡山支院	3日・7日・24日	岡山市南区若葉町1-16	☎(086)262-0818
高知布教所	12日	高知市上町5-5-39	☎(088)823-1983
福山支院	3日・17日	福山市西町3-19-5	☎(084)921-3078
三原支院	9日・24日	三原市皆実2-9-22	☎(0848)62-5087
安芸津支院	2日・17日・24日	東広島市安芸津町三津3765-3	☎(0846)45-4012
坂支院	3日	広島県安芸郡坂町坂東2-24-12	☎(082)885-1064
福岡支院	3日・15日・17日	福岡市早良区城西2-11-37	☎(092)821-7975
壱岐布教所	13日	壱岐市石田町池田東触1-1-2	☎(0920)44-5445
筑後布教所	10日	筑後市大字西牟田5954-1	☎(0942)53-7273
天草布教所	1日	上天草市大矢野町維和1502-1	☎(0964)58-0742
田川支院	10日・24日	田川市春日町7-30	☎(0947)42-1819
名古屋地区	7日・17日・20日・27日	名古屋市昭和区駒方町3-3	☎(052)831-7135
瀬戸布教所	9日・19日・30日	瀬戸市東本町2-20	☎(0561)85-6860
亀岡布教所	11日・24日	亀岡市篠町篠牧田73-1	☎(0771)25-7807

※スケジュールは変更されることがあります。詳しくは各支院・布教所にお問い合わせください。(掲載順不同)



第52回

青少年育成道場

日時 令和6年3月31日(日)
午前7時30分～午後2時

場所 法音寺大本堂

対象 15歳～35歳

持ち物 念珠/経本/筆記用具

参加費 無料

主なプログラム

- 山首上人さまご法話
- 日達上人在位50年動画
- 青年会員体験発表
- ディスカッション
「悦可衆心」
私が人にできること・伝えられること



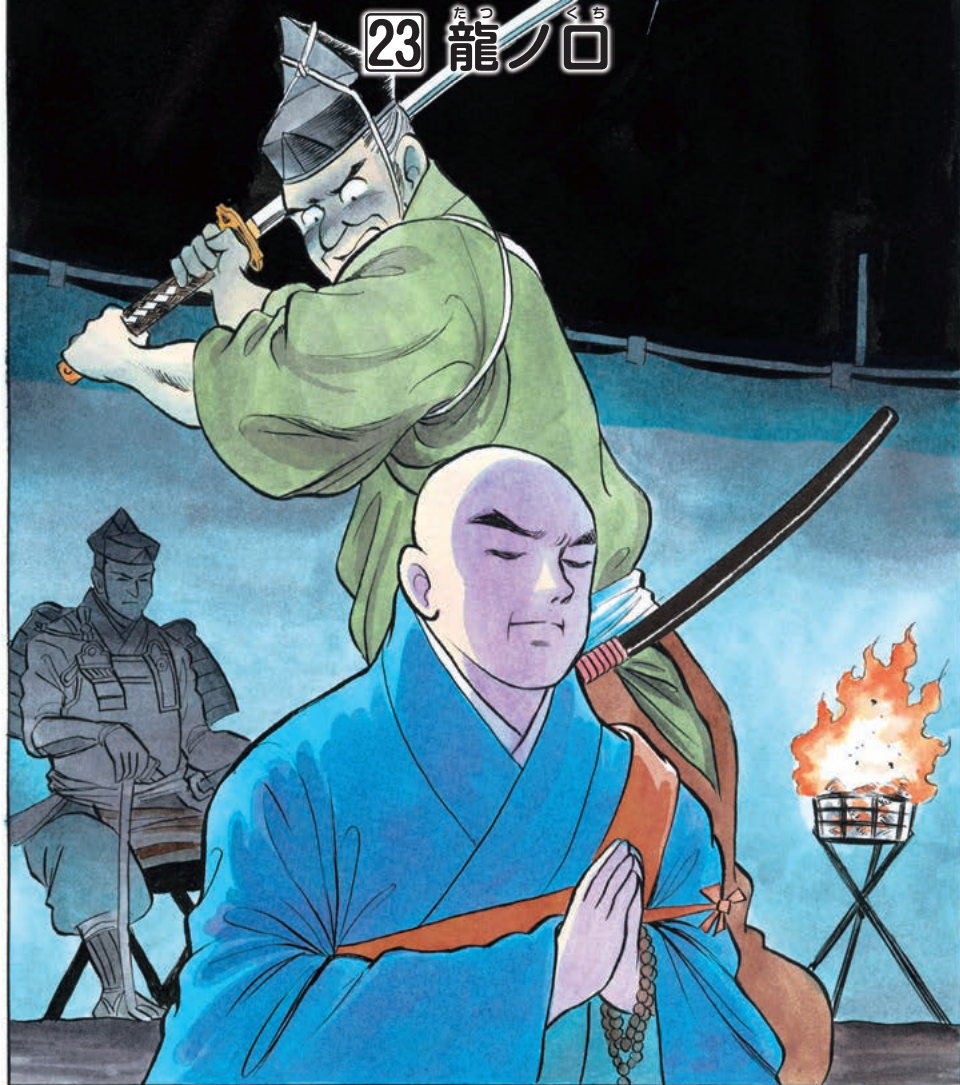
お申込み締め切り

令和6年3月7日(木)まで

お申込み・お問い合わせ ≫ 青少年育成委員会 (各支院/布教所まで)

に ち れ ん
日蓮さま

23 たつ 龍ノ口



にうれんしょうじん
日蓮聖人を連れ
た一行は
龍ノ口刑場へ向か
つていました



ごりょうじんしゃ
御霊神社



この北には
四糸金吾殿が
おられるな



なに
何をしている
か
勝手に下馬するぞ
でない



しばしここで
祈りたい

お時間を
いたたきたい

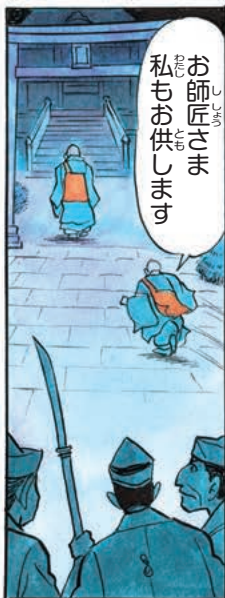


なに
何を勝手な
ことを！



少しくらい
よがるう

お師匠さま
私もお供します



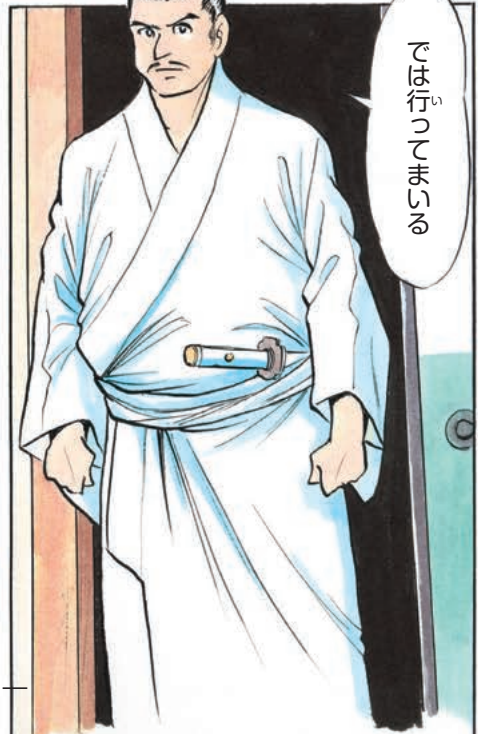
くまうまる
熊丸
そなたに
たのみたい
ことがある

はい



すぐ
処刑される
のだからな





しばし話がしたい
のだがよろしいか？

好きにする
がよい

此の世に生を受けた者が
死ぬのは世の習い
雉となれば鷹につかまれ
鼠に生まれれば猫に喰われる

妻子財宝のために
命を捨てる人は大勢いても
法華経のため 国のために
命を捨てる者はおりません

金吾殿
よく来て
くだされました

これから
申すこと多く
聞いてください

親の恩 国恩に報いる
力のない私は せめて
一命を法華経に奉り
国のご恩に報い
功徳を父母に回向する
つもりです

法華経の行者日蓮の
首がはねられるのです
最後を見届けて
末代の人々に
語り継いでいただきたい

お上人さま…

さ
まいるつか

お供いたします

龍ノ口刑場

さあ
着いたぞ
降りろ

準備は
整って
おるな



さあ 時間だ
日蓮の首を
はねよ



お上人さまが
処刑されようと
しているのを
見ているしか
できないとは…



お上人さま
わたしが!



先に腹を切り
冥土にて
お待ちします



おやめなさい
その必要はありません

あなたにはまだ役目があります
法華経をよくたもち
世に伝えてください





何をしておる
早くせぬか



如何に天下の
敵命とはいえ
出家の首を
斬ることになるかは



いかがだろう
今日より念仏を
唱えるといふなら
私が命に代えても
お助けするが



法華経に命を
捧げるのは 砂を金に
石を玉に変える
よつなもの



これに過ぎた喜びは
ありません
覚悟はできています
さあ首を斬りなさい

南無
妙法蓮華経

南無妙法蓮華経



南無妙法蓮華経



仕方ない
観念せよ

南無妙法蓮華経

南無妙法蓮華経

日蓮
いせー!





カッ

ひいひいひい

ふあふあ!

つづく

龍口法難

日蓮聖人が、竹矢来たけやらいをめぐらした海辺の刑場「龍ノ口」に到着したのは9月13日午前2時でした。同行した四条金吾兄弟も「これまでか……と涙にくれる一方、日蓮聖人は「法華経の行者が法難で死ぬのは覚悟の上であり、法悦である」と毅然としていました。竹矢来にとりすぎる弟子・信徒達、警護の武士に囲まれて控える平頼綱の眼前で、いよいよ刑が執行されようとしていました。太刀取り・本間直重は北条家に伝わる名刀・蛇胴丸を抜き、太刀を振ろうとした瞬間、江ノ島の方角から目もくらむ光の玉が刑場に向かってきました。

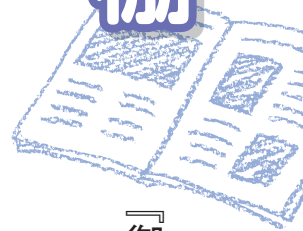
一説には蛇胴丸は3つに折れ、さらに首を斬ろうとした一行に怪風が襲いかかったと言われています。刑場は大混乱に陥り、頼綱は直ちに使者を送り、時宗の指示を仰ぐことになりました。一方同刻、時宗も「正法の行者を失うならば国の柱を倒すが如し」という天の声により、急いで赦免状を書き、使者・南条七郎を走らせませす。二人の使者は行合川でばったりと出会い、赦免状を受け取った使者は刑場に引き返したと伝承されています。



行合川と江ノ電 鎌倉観光ガイドHPより



お寺の本棚



『御開山上人御法話集(二)』



仏さまの本当のお心

〃仏は幸福を与えてくださる〃

仏は私達の苦を除いてくださる。

仏は私達に幸福を与えてくださる。

仏は私達の世界を平和な極楽としてくださる。








仏の教えは人間に幸福を与え、平和を実現させてくださる。

◇聖の教え(十三・譬喩品)

「我一人のみ 能く救護を為す」

(おりにふれて)





ここでは「仏さまは罰を当てる人ではない。私達を仏にしよう、楽にしよう、と違ってくださっている方である」ということを覚えてもらえば結構であります。

仏さまの教えは、親孝行者を作り、幸せ者になるという教えであります。お金や物がなくても、ニコツとした顔を見せたり、労ったり、慰めたりすることは、一切資本のかららない親孝行者になる方法です。親・先祖の恩を知り、その恩を感謝し、恩に報いていこうとすることは大事なことであります。どうか親孝行者になっていただきますよう、お願いいたします。

法華経は、仏さまのお心そのまま顕わされたお経であります。そのお経が他のお経に比べてどうしてありがたいかという点、私どもが凡夫のこの身で仏と同じ働きのできる人になれるからです。自分の住んでいるこの世の中が極楽になると教えられていることです。この教えを読み、聞き、実行していくと、それは、自分の苦しみ・悩みを開く力になるのです。ですから、だんだんとやっていけば必ずその目的が達せられて、うああ、自分の一生はよかった。ありがとうかった」という日がくることは間違いありません。

この本をもっと詳しく読んでみたい方は、法音寺本山、または各支院・布教所までお問い合わせください。

常寂光土への誘い (20)

無量義経 説法品第二

善男子、是の義を以ての故に、故に知んぬ。説は同じけれども而も義は別異なり。義異なるが故に衆生の解異なるなり。解異なるが故に得法・得果・得道亦異なるなり。

「善男子よ、結局は、大勢の人々を『仏の境界』にまで進めてあげようという心で説くのであるから、説くことは同じであるが、相手の程度に応じて浅いことも説かなければならず、深いことも説かなければならない。その内容には差異がある。説く程度に差異があるから、人々の受け取り方も、教えを聞いて得た覚りも、進む道も異なるのである」。

是の故に善男子、我道を得て初めて起つて法を説きしより、今日、大乘無量義経を演説するに至るまで、未だ曾て苦・空・無常・無我・非真・非仮・非大・非小・本来生ぜず今亦滅せず、一相・無相・法相・法性・不来・不去なり。而も諸の衆生四相に遷さると説かざるにあらず。

「この故に善男子よ、自分が覚りを開いて初めて起つて教えを説いて以来、今日、大乘無量義経を演説す

るに至るまで、いつでもこういう事を説かなかったことはないのである」。

「苦」は、この世の中は誰でも満足がないということ。「空」は、無差別ということ。「無常」とは、一切の物・事はいつも変わっていくということ。「無我」は、現在の自分に執着しないということ。「非真・非仮」は、今現れている現象を、そのまま実在と見るのも、仮のものとして無視するのも正しい見方ではないということ。「非大・非小」は、世間で言う、大きいとか小さいということも、その差は一時的なものにすぎないということ。

これらの事は皆「本来生ぜず今亦滅せず」で、世の中の事はいろいろ変化があるけれども、そうした変化を離れて真実の理を考えなければならぬ、と教えられるのです。

「一相・無相」の相は、差別の相です。世の中に現れている一切の物・事にはいろいろな差別があるけれども、根本を言えば一つの理があるのみで、一切は差別を超越しているということ。

「法相・法性」の法は一切の物・事。それには、それぞれの相があり、性質があるけれども、それは「不來・不去」で、すべては一時的のこと。現れてきたのも、消えていくのも一時のことにすぎないのです。

真実の相は一切変化も違いもないのに、人々は「四相に遷さ」れています。四相とは「生・住・異・滅」のことです。生相とは物が生じてくること。住相とは同じ状態で続いていること。異相は異なっていくこと。滅相は滅びてなくなることです。その因は、始終心が動揺しているところにあります。

こうした事に捉われているのが、私どもの今の姿かもしれません。ですから「こうした事は誠に無意味であるから、そういう眼の前の事を超越して、本当の理を考えなければいけない」と教えられているのであります。

ひろば

福祉の



幸せのお手伝い

「トイレに座れない」
の心境

介護・福祉の意味を学んだ

Aさんとの出会い

私が介護に携わり約2年が経った頃、車椅子に座り朗らかに笑う、いかにも「温和なお母さん」という印象を受けるAさんが入所されました。

Aさんは昔の手術で、ストーマ（人工肛門）を付けていました。半身麻痺があるため、私が日々のストーマケアをさせていただくと、「ごめんねさいね、面倒なことを頼んで」と申し訳なさそうにおっしゃる方でした。Aさんは、自分で行えないことを誰かに助けてもらう必要があることについて、自分の中で仕方がないことと納得しながらも、

ずっと辛い思いをされていたと思います。

そんなAさんの担当となった私は、Aさんの入所初日に「受け入れ面談」に参加させていただきました。当時のグループリーダーから「麻痺の程度は？麻痺は左右どちらか？動かすことはできるか？」等の情報を確認してくるように頼まれました。

ご家族に確認を行い、聞き取りをした情報をグループリーダーに伝えました。するとグループリーダーから一言「Aさんはトイレに座れるよ」と言われました。私は、ストーマを付けるようになった頃から寝たきりの生活だったAさんが、本当にトイレに座れるのか、半信半疑でした。

しかし、グループリーダーは、Aさんをトイレへお連れし、普通にトイレへ移乗することができました。高浜安立荘に来られるまで、寝たきりの生活であったことが嘘のようでした。

トイレに再び座ることをあきらめていたAさんは「もう一度トイレに座れるなんて」と泣き始めました。あの時の私は、Aさんを再びトイレに、ということとは、全く考えつきませんでした。当時のグループリーダーと一緒に仕事をしていなかったら、おそらく私は、ベッド上での対応を継続して、トイレに座っていただくようにはしなかったと思います。

私は、この時の経験から、介護のプロとして大切な姿勢を一つ学びました。実施したことは「トイレに座ること」ですが、利用者の思いなども含めて考えると、介護、福祉の根幹につながる大事な学びを得たと思います。

あれから十年、介護の仕事が続けてきましたが、Aさんの出来事を振り返る度に、介護はつくづくむずかしいと感じます。しかし同時に、十年経っても、介護って楽しい、と感じる自分がいます。

特別養護老人ホーム高浜安立荘 介護員 仲平 創記



保育分野施設見学研修会



写真提供・昭徳会

社会福祉法人 昭徳会

～地域の中で愛される保育園であり続けるために～

令和4年に生まれた赤ちゃんの数（出生数）は79万9728人となり、国の予測よりも十年速いペースで少子化が進むとされています。コロナウイルス流行以前の保育分野の最大の関心事は待機児童への対策でしたが、ほとんどの地域で待機児童も減少し、この数年間で、保育分野が検討するべき課題も大きく変化してきました。また、核家族化の進行による、0・2歳児の未就園児家庭の保護者の孤立化、虐待や貧困、個別支援が必要な子どもへの対応等、子どもの数は減少傾向であっても、保育園・こども園に求められる地域ニーズは多様化の傾向にあります。そんな時代に向かう中、駒方保育園・光徳保育園・天王保育園では職員の資質向上と保育教育内容の充実のため、これまで、さまざまな研修会を開催してきました。

今回は、令和6年1月22日に、今後の保育・教育の質の向上をめざすことを目的として、愛知県あま市にある福寿会の幼保連携型認定こども園・「ひかりこどもえん」施設見学研修会を開催しました。こちらは園内に企業主導型保育園（職員のための保育園）、児童発達支援事業所、放課後デイサービスを併設した多機能施設となっています。園内は、子どもの成長や安



とりに法人の想いを伝え、共有していくことが何より大切だと思えます」と話されていきました。他園の取り組みを見学し、自園との違いや新しい考えにふれ「明日から、自分達の保育をもっと考えよう!!」

全に配慮されながらも、遊びの世界が広がる環境設定に加え、アート作品が飾られ、大人であってもワクワクする雰囲気にも包まれています。「このコーナーの設定は遊びが広がるね」「先生が子どもの活動を連携して見守っているね」など、自園でも取り入れたいと思う発見がたくさんありました。事務室の細やかな場所までご案内いただき、業務改善のヒントやICTシナジムの利用等、参考になることがたくさんありました。

見学を終え、どのような経緯でこのような多機能化を進められたのかをうかがうと、「必要とされているニーズに応えていった結果こうなりました。職員一人ひとりに法人の想いを

という意欲が高まりました。午後からは、3保育園の取り組みや、大切にしたい、子どもや職員への思い等を話し合いました。



そして、「それぞれ保育園は違っても、子ども達、職員一人ひとりを大切に、皆に楽しく幸福に過ごしてもらいたいと願う気持は同じ」と3保育園で保育への思いを共有し、充実した気持で一日の研修を終えました。

これからの未来を創り、平和や環境を守っていくのはこれから大人へと成長していく子ども達です。

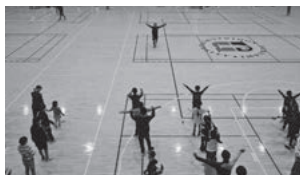
私達保育者はそんな子ども達を育てているという責任感と専門性をもって、子ども達の「幸福」をめざすと同時に、地域の中でいつまでも愛され続ける保育園であり続けるため、これからも学んでいきたいと思えます。

光徳保育園 園長 都野 智文

2024年(令和6年)1月21日、日本福祉大学美浜キャンパス Sports Lab SALTOにて本学と愛知県美浜町による共同組織「みはまスポーツまちづくり推進室」主催のみはまスポーツフェスティバル2024を実施しました。



写真提供・日本福祉大学



昨年(令和5年)に続き、オリンピックメダリストの飯塚翔太選手(ミズノ所属、2016年リオデジャネイロオリンピック4×100mリレー銀メダリスト)とプロフェッショナルトレーナーの友岡和彦氏をお招きして、走り方教室とフリートーク企画の2部構成でイベントが開催されました。

冒頭、八谷充則美浜町長からご挨拶をいただき、「スポーツ×まちづくり」の展望や、未来のまちづくりを担う子ども達への期待が語られました。

昨年の好評もあり、早々に募集締切となった走り方教室は、100名を超える参加者とその保護者で会場は賑やかな雰囲気となりました。

まずは友岡トレーナーの会場全体を引き込むウォーミングアップとトレーニング指導。それに応えるように活発な子ども達印象的でした。



みはまスポーツフェスティバル2024を開催しました！

〜日本福祉大学×愛知県美浜町〜



続いて飯塚選手（ミズノ所属）の走り方指導では、理論的な動きをわかりやすく、優しく語り掛けて指導する姿に、子ども達も「もう一本！」と積極的に取り組んでいました。

このイベントには本学陸上部の学生も運営協力させていただき、飯塚選手・友岡トレーナーの背中を見て子ども達と対話しながら、運営補助に勤めました。

走り方教室の最後は、飯塚選手と子ども達の真剣勝負。本物のスピードを感じながら、この日のおさらいをしました。

続いて、全世代を対象にしたフリースイク&交流企画が実施され、お二方には子ども達から寄せられるさまざまな質問に真剣に耳を傾けていただきました。

飯塚選手からは子どもの頃の陸上記録や、スポーツ・遊び



への取り組み、飯塚家の生活が紹介され、自身の生活や取り組みに思いを重ねる子ども達の関心が伝わってきました。

大人の皆さんにも交流タイムが設けられ、飯塚選手のアスリート活動への期待のほか、スポーツに取り組む子どもを持つ保護者からの質問も寄せられました。友岡氏からは食事や睡眠、トレーニングなど、アスリートに長年寄り添ってきたからこそ語れるプロトレーナーの見解が述べられました。

イベントの最後には、飯塚選手から直接サイン色紙が手渡され、盛会のうちに終了となりました。

イベント後には、運営協力いただいた日本福祉大学・付属高校陸上部を対象にスペシャルレッスンを実施され、レベルの高い練習やテクニックを今後の活動に取り入れようと学生達も一生懸命に取り組みました。

日本福祉大学美浜事業推進室

浅野 尊信



幸せの種まき

法華経の功德は
外に求めるものではなく
私の心の中に見つけるのです

どのような境遇にあっても
心を澄ませ、落ち着いた心で
「ありがたい」ことを見つけましょう

大乗山 法音寺

編集後記

今月号の支院だよりでは各地で行われた寒修行や節分会のレポートが多く見られました。特に、寒修行の原稿では能登半島地震で被災した人々に思いを馳せ、地域の復興に祈りを捧げる姿が、また節分会の原稿では多くの人達が4年ぶりの開催を喜ぶ姿が印象的でした。

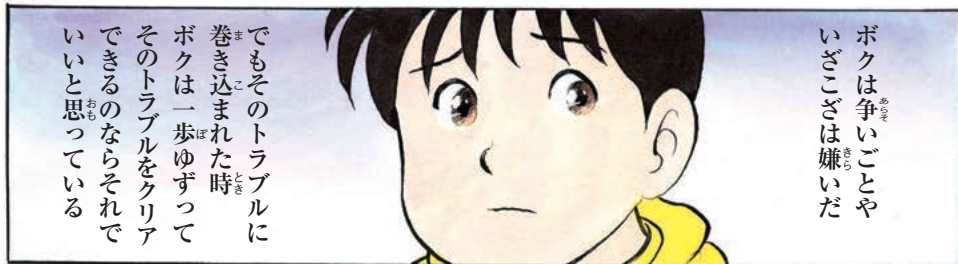
法華経では「この世は仏さまによって作られた安穩な世界」と説かれます。お互いに思いやりの心もち、「ありがたいこと」を見つけないがみんなが笑顔で過ごしていく世界です。支院だよりの原稿を読みながら、「皆さんはお寺の行事を通して、まさに仏さまの世界を体験されているのだなあ」と感じました。私達はこの貴重な体験をお寺の中だけではなく、社会でも家庭でも活かしていくことができれば幸いです。

日達上人は「世の中が悪く見えるのもよく見えるのも自分の心次第。そこに住んでいる人がどういう心で、どういう行いをするかによって、良くも悪くもなります」とお教えくださいました。私達は「幸せは自分が作っていくもの」という先師の言葉を改めて胸に刻みたいものです。



もう少しの勇氣

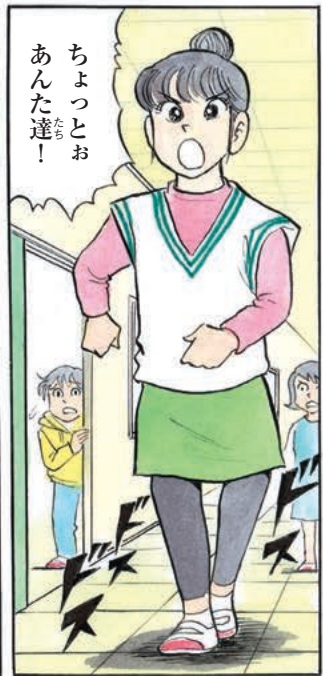
竹中 淳





うっせえな
女子のくせに

ドッジボールは
外でやりなよ
危ないでしょ



ちよつとお
あんた達!



じゃ男子らしい
ところを見せてよ

言ったわね



やめなよ
男子3人だぞ

夢子ちゃん
無茶よ

えらいことにな
ったぞ



外でドッジボール
男子3人対
あたし1人で
勝負しよう
じゃない

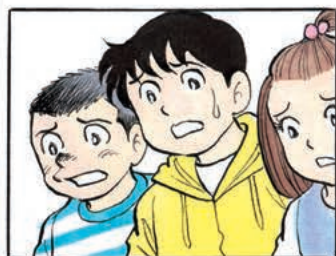
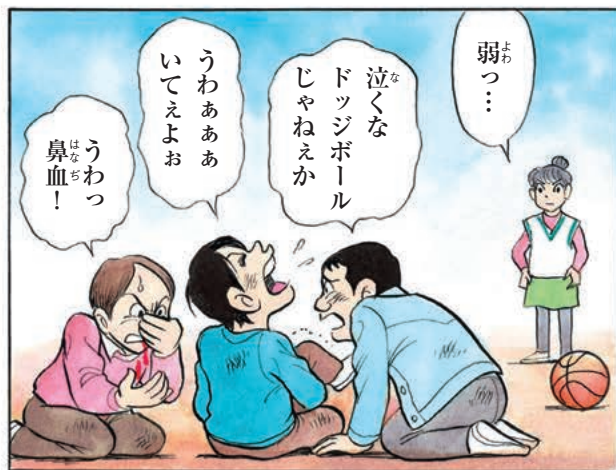
いいのか
負けて泣いても
知らないぞ



聞いてんのか



なあ夢子
オレと蓮が入って
3対3でやったら
どうだ?





図書館では
静かにしようね
つてなぜ言えない

蓮くん タケルと
シヨウがもめてる

じゃ
わたしが

やめて！
ボクが
行くから
ここにいて！

ガタ

なんだよ
何がだよ

おーい
やめろよ

どうした？

使う？
ティッシュ

仲直りできたけど
タケルのヒジが
あたるた

はあ、疲れた
今日は早く寝ようつと

翌日

昨日の宿題は
帰りの終礼に
集めますね

むずかしかった
よね ボク全部
できなかつたよ

今日は悪かつたな

じゃ昼休み
わからなかつた
所 わたしが
教えるから
一緒にやろう

サンキュー



昨日きのうの宿題しゅくだい
今いまやってんだ



ちよつとお
もちろん宿題しゅくだい全部ぜんぶ
やってこなかった
ボクが悪いけど
夢子ゆめこちゃん
キミがボクの
平穏へいおんな日々ひびを
かき乱みだしてないとは
いえないよ



あーひよつとして
ひろみちゃんの宿題しゅくだいを
写うつさせてもらったりにして
そんなこと
してないよ
わからない所ところ
教えてもらっ
てるだけだよ



ねえキミ!
校長室こうちょうしつ
どこ!!

そこそこの右みぎの奥おく



宿題しゅくだい写うつすヤツも
写うつさせるヤツも
同罪どうざいだからね
しつこいなあ
写うつしてなんか
ないって!



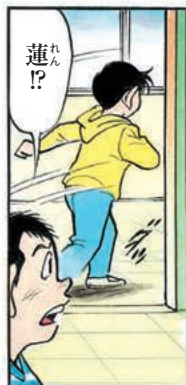
夢子ちゃん
ちよつと来て
みんなは自習
してて



校長 昨日
うちの子は鼻血を
出して帰ってきました

これはいじめが
あったのでは
ないですか!?

すぐに本人と
担任に確認
しますので
おちついて
ください



蓮!?



たしかに やりすぎ
かもしれない
でも見てた
だけのボクは
卑怯じゃ
ないのか…



どうした
んだ

さつきオレ見たよ
夢子にやられた2組の
子の母親が校長室に
どなりこんでいった
きつとこつびどく
叱られるぜ

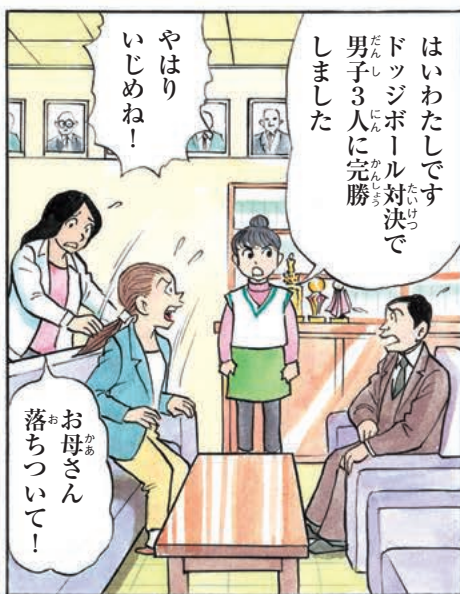


昨日鼻血を
出した子と
いうのはキミかね

この子うちの
子じゃ
ありませんよ



失礼します



はいわたしです
ドッジボール対決で
男子3人に完勝
しました

やはり
いじめね!

お母さん
落ちついて!



いいえちがいます
ボクはそほで
見ていただけです

見て見ぬふりをしていたんです
でも もう少しの勇気が
あつたら 夢子ちゃんと
同じことをしました

だから夢子ちゃんを
叱るといふのなら
見て見ぬふりをした
ボクも叱って！
ボクも同罪だから

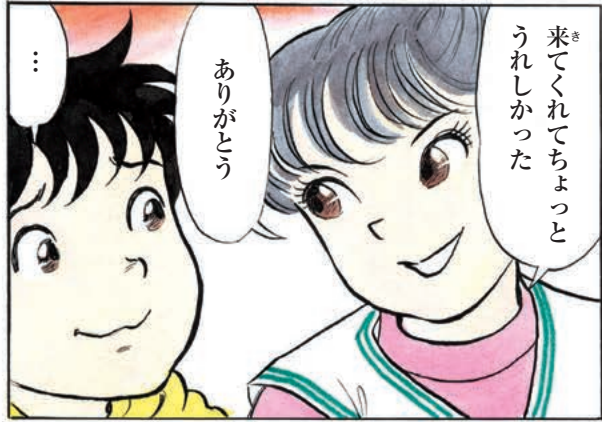


まんと
正人！

母さん！なんで
学校へなんか
来たんだよ



？
運くん
いったい
どういう
こと？



来てくれてちょっと
うれしかった

ありがとう

：



オレ達がみんな悪いんだ
廊下でドッジボールを
やってたんだからさ

そうなの!?
あらヤダ
ごめんなさい



どういたしましたか
は？

え？
催促する？

おしまい

法音寺物語

社会福祉という言葉がなかった時代…
人々を本当の幸せにする仏教の精神で
社会的弱者を救済する人達がありました。



貧困にあえぐ人達に食料や医療を施し、
差別を受けたハンセン病を患った人々に
寄り添い、様々な事情で親をなくした
子ども達を養育し、障がいを持つ人々に
生きる希望を与えてきました。



お寺になったのは戦後(昭和22年)のこと。
初代住職・鈴木修学上人は、福祉施設を
運営する中で、本当に人々を救済するには
“専門的知識を身につけた人材が必要”と考え、
日本初となる社会福祉教育専門の4年制大学・
日本福祉大学を開設しました。



その後、“仏さまの教えを実行し、困っている人達を
救済しよう”という理念に共鳴する人達が各地に
増え、全国に40の支院・布教所が設置されました。
多くの心ある人達の善意に支えられて、現在では、
高齢・障がい・児童の19福祉施設が運営され、
大学では多くの学生が社会福祉を学んでいます。





悦可衆心

相手を満足させればすぐ喜びがくる
相手をいたわれば喜び合う日が必ずくる

写真・法音寺大本堂
《山首上人の大修行御成満奉告法要の砌》

日蓮宗大乘山 法音寺

〒466-0832 名古屋市昭和区駒方町3-3 TEL.052-831-7135
https://www.houonji.com FAX.052-831-9801



講話日

毎月7日・17日・27日
午後1時30分

ホームページにて月刊法音を掲載しています

SNSでつながる法音寺

法音寺公式
facebookで
毎朝7時
『一日一言』
配信中!!

こちらの
QRコードから
ご覧いただけます。



毎週火曜日
法音寺メールマガジン
配信中!!

山首上人のみ教えや毎月の予定、
人にやさしく生きていくための
コツなどを配信します。

こちらのQRコードから
メールマガジン登録フォームを
ご覧いただけます。



YouTubeにて
法音寺チャンネル
開設中!!

[https://www.youtube.com/
user/houonjimovie](https://www.youtube.com/user/houonjimovie)

こちらのQRコードから
法音寺紹介動画を
ご覧いただけます。



詳しくはホームページ、またはYouTubeサイトで

法音寺

検索

法音寺の社会福祉・教育事業

徳を昭(あき)らかにし、徳を以って世間を照らす

社会福祉法人 昭徳会

- 児童養護施設
- 障がい児入所施設
- 障がい者支援施設
- 特別養護老人ホーム
- 障がい福祉サービス事業
- 養護老人ホーム
- 軽費老人ホーム
- 保育所
- 軽費老人ホーム(特定施設入居者生活介護事業)
- 自立援助ホーム

法人本部

〒466-0832 愛知県名古屋市長和区駒方町4-10
TEL (052) 831-5171
<https://www.syoutokukai.or.jp>



我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す

学校法人 日本福祉大学

- 日本福祉大学大学院
- 日本福祉大学
- 日本福祉大学中央福祉専門学校
- 日本福祉大学付属高等学校

法人本部

〒470-3295
愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6
TEL (0569) 87-2211
<https://www.n-fukushi.ac.jp>



法音・令和6年3月号・No.653・令和6年3月1日発行
発行所・日蓮宗法音寺／制作・法音寺広報委員会
非売品／印刷・(株)一誠社